

# 一人一人を 見まもる 教育相談



## 学校と教育委員会が一体で

今年度から、市立の全小・中学校で全員担任制（小学校はチーム指導）と教育相談部会を導入しました。また、教育総合支援センターの組織体制を充実させました。市は、「取手市の新しい学校教育3つの取組」の推進、いじめ防止対策、不登校の子どもの支援に取り組んでいきます。

これら全ての取り組みを、各学校と教育委員会が一体となり、進めていく事例は県内初です。



### ◆教育相談とは

子ども・保護者両方からの、子どもの心身の成長に関すること、友人関係、学業、部活動、家庭生活など、さまざまな相談のことを指します。

まずは話を徹底して聴き、ありのままのその人を、尊重します。また、「共に思うこと」という共感的理解を通し、相談者とともに解決への手立てを考えていきます。すぐに効果は表れませんが、子どもたちは徐々に、自信を取り戻していきます。

### 取手市の新しい学校教育3つの取組

4月から導入した、全員担任制・教育相談部会・2学期制を指します

## 小・中学校の取り組み

### ◆全員担任制（チーム指導）

市立の全中学校では、全員担任制を導入し、学年の教員が交代で担任の業務を行っています（小学校はチーム指導を導入）。教員がチームとなって、日常の小さな変化も見逃さないよう、多面的に子どもたちの様子、関係性の変化を見守っています。また、子ども・保護者の皆さんと、複数の教員とのより良い関係を築いていくことも目的です。全ての教員が相談に応じます。

### ◆教育相談部会

校長・教頭、教育相談主任、学年の担当、専門家などが集まり、定期的に会議を行います。個々の教員が感じたささいな違和感を大切に、複数の教員で共有し、今後の対応を協議しています。



教育総合支援センターの学校連携支援員、スクールカウンセラー・スーパーバイザーも出席し、アドバイスをしています。

### ◆心とからだのチェックシート

市内の養護教諭が協力して、子どもたちの心身の状態を把握するための「心とからだのチェックシート」を作成しました。6月・夏休み明けの学校再開時に、各小・中学校でチェックシートを活用し、子どもたちの心身の状況を確認しました。



各家庭でも、チェックシートにあるような視点からお子さんの状況を見守り、気になること、不安なことなどがありましたら、いつでも学校へお知らせください。



市教育委員会  
ホームページ  
で公開中

### ◆各学校の役割



- ▶ 相談の受け付け
- ▶ 教育相談部会で教員間の情報共有
- ▶ 教育総合支援センターの助言も参考に、課題へ対応

### ■相談体制

▶ 教員・養護教諭など  
さまざまな相談に応じます。必要に応じて、教育相談部会で情報を共有します。

▶ スクールカウンセラー  
心理の専門家が、専門的な知見からカウンセリングを行います。

▶ 子どもと親の相談員  
教育に関する知識や経験を持つ身近な相談員が、気軽に相談に応じます。

## 学校の先生から

全員担任制が始まり、いろいろな人の目が行き届くようになったことを実感しています。教育相談部会を通し、アドバイスをもらい、情報を共有しています。子どもたち一人一人の良いところを伸ばす・認めることを目標にしており、徐々に効果が出てきていると思います。

—— 子ども・保護者の方へ

学校には、専門家の先生、校長先生など、自分が思っている以上に、支えてくれている方は多いです。誰でも話したい人に、話したいことを話してください。



藤代中学校 教育相談主任  
江幡綾子先生